百段大角大將以下在軍省

にしると臨時大祭第一日の

陸軍兵芯願者訓練所規程

一徒採用規則公布

例代所長には鹽原學務局長

京城清凉町の東方に建築

り清京中の宿舎を既に割富 今まで三名の所を二名とな 近したと解へられる、今年間に別論戦度勇士造族は歌 仰破群選ばされる御由で、 忠男の英嶽に御親拝、並に 大師心の御歌きには施事首 **建て除海東省局から要き過ずべき新合配者については** る情國遊社臨時大祭に合祀 原原電話 來為門上十 を調せられることになっ 揺も含まる 半島出身の六

十六日朝許あらせられ、二 に輝く合心の海軍側英鬘の 【宋京電話】 指與時點例祭

の軍艦六柱が含まれてゐる 行で、古の中には学島田身 係六省八十六柱。その他二 外並に職仍先軍人軍勵四十 育丁五日までにおける戦 権の荒精群を準み職動会立 [新田城] 中佐、同十九

今回の合肥英麗は浦州非曼 天大街 群隨雲撒三等兵費 一般り は吹の 塩比な 名文 て、月十五日蘇州空場の花

家の川の信頼され、中支方

れを水路、横窓院に御路前の手機(附で本府院軍御用掛乗務を命げ

朝鮮軍法謀井県職次郎中佐は一 井原朝鮮軍參謀 本府御用係兼務

元井。お乳 電話龍山七三一

海本島 — OOB

二日の臨時間選は午前十一時三十

臨時間議職(東京電話)原院書記長の献送奏曹の件を決ら

につき詳願説明あり、異議なくこ

歴史的會談を行ふ! 北支兩新政權の首腦

梁行政院長三日北京へ

てこの原則が決定するにおいては不可避的に臨時政府の强化改組が招求され、臨時政府の本格的發展を見る譯 收されるを妥當としてゐるので、何れこの方針の下に兩政府首腦部間で折衝が重ねられるものと見られる、而 **黎鴻志特使の來京と共に兩政府首腦部間の會談は頗る注目されてゐる(第4kin五度餐では霧標度)** 合流質現と共に離新政府の現在の形體を解消するを適當なりとし現在の維新政府首臘部は臨時政府の組織内に の合流と云ふ原則精神を生かすためにはては、臨時政府では維新政府が臨時政府最も成行を注目されてゐる合流問題につ府首臘の間で行はれる歷史的會談におい と會見を遂げることに決した。而して兩政

とならう。これらの二妻の主力、関係食献を通じて四月末までに四、空車の稼饉により飛ど物燃煙を失いて、俄健田性はオペインチ、一作に乗出し、香港の長崎郷紙堂、れてらる、之は翌日に互る我院御墓は西郷三年・ン乃至四萬五子、一作に乗出し、香港の長崎郷紙堂、れてらる、之は翌日に互る我院御建設の「とは不ららからの戦」総定委員長に迎へて変勲空事再趙(んだと云・戦が最近領りに述れる世紀である。これになららからの戦・総定委員長に迎へて変勲空事再趙(んだと云・戦が最近領りに述れる

も援用する景东の如く財育してい

ター機項不採用の方針を明か 王力艦二隻 國旗の尊重

延続計畫の内容について一月左の一 特は膨よロンドン傾動エスカレ ワンントノー日间型】 アメリカ カ海軍諸局ではエスカレータ - 條項を援用、巨大主力觀題 を取締め中で近く印刷物として各 して一般に周知徹底せしめること 締の立場から各道に油原を養する 一方、各家庭の取扱ひも英全を期 可に関しては長に本府警務局は取 関語明徴を大精神とする国族の歌

紅をおこしてるる事が判明した、

| 「は、1855年 | 2006年 | 1950年 | してるたが、出席者には人民戦級日から漢目に製まって合議を織行 各地七十五ヶ所代表が去る二十五

民衆、警備兵の衝突事件

英國から抗議

年愛國剛體のそれと矛盾すると、教國聯合裔の形式は各地の背 適可を仰ぎ左の如く酸令すること | 撥せられ政府においてもこれが修 に開発部官長の更迭を行ふことに 次定、二日の駅構に附して上奏御 | 又田口氏は流線、東拓副總裁等に

再建に焦慮

民衆と英國警備兵が衝突した事件。する等頗る強硬なもので、軍とし 路に於て新政権設立税費行進の際一い、よつて再考せられるやり都告 が誕生した際。イギリス警備質局。ても今回のイギリス側の態度を頂

して抗議文を受理すべき筋合でな

躍進半島産業に拍早

徹底を期す 辭務局で周知

たものである

米建造意向

旗と日本國旗との交叉撮場方法な

長、田口兩院書記官

を以て箕旋され、其二である粽(觜舎による司舎總行理則は下七樣(間郷財却經では入所うる著は戸籍・大法令中、朝鮮貌有令故正は一(勘郷に鑑さものである、次に陰軍(者に限る』と郷定され将舎による)

は競権等位甲縄非民一、六〇米以 | 及演科で、訓育は教育に関うる類 | で条所生を含質せしめ程度、被服 | の通りである、尚は同所は前漢町

上にして、現役長として入倉し又「語並に収入に既にりたし朝諭の歴」は給更され、一次入所した者は青一の東方楊州郡盧磯重北衞里に約七

|動せられるまでに訓練所の課程を「置鉄原行に売ぎ、襲骨に喊論、関「出來ない、更に符合による河所生」実にようて建築されるとになった。 は第一都元兵として教育のため石 | 肝に払いて県國荷鮮を頑張し之を | 己の便宜のために退助することは | 三宮韓国を以つて陸軍兵令と同議。

今次介践は全国各地代表を翻 進めてゐたが、長貴族院、田口衆議 氏とも登象開院にをること二十年 の艱滋騰以の郁充について慰戮を一が臀を並べて鄧速に決定した、【東京電話】政府は豫和て缺以中一長立族院、田口蝦薩院廟舎北京 これを動選に表所し、これと同時 院博物館官長多年の功労に對して

を理由として一第二次食業を解散

学品重新の課題に備へて、透信局 氣象通報施設改善

であるが、我軍に於て調金した

キリス側の 抗議は 全然根據の

ないことが判明したので、一日午 | 以來名赏共に構進途上にある半路 | 新装 州外海 陸十三側所の無配局 | 「泥」三日一 行する事になった、即ち支刑市機・投資最後は、中江戦、江陵、海州、では県業通報権政に一大改革を職・個年機機事業として京英、洲州局、

上海一日同盟」中支新政権が設一官の態度とも思はれず、日本軍と一る注目すべきものがある 我方斷乎として一蹴

飛行士斡旋依賴 某國系の會社に

員、武道教師、全屋、講師など

人(奏任) 助袋袋二人(判任)

、米は煖用に决定

佛は倫敦條約を遵守

の正式香輸を以て畑最高指揮官

英外務省から公表

制によれば同所は朝鮮總督の答

取つて公布されたべ これに

と對し心身の鍛錬その他の訓練

関し、陸軍兵役に服する志思

エス

力

木ら五日正午、開院会課機 木ら五日正午、開院会課機

御陪食仰付らる 五日師團長らに

省、各部领县、陆軍首腦部

番と共に公表した、

右公表によれ

をもつてロンドン海軍候約第二十 **に英米兩国政府は三月三十1日附**

る、なほイギリス政府は右正式通・二十五日ロ

三國政府通牒

でロンドン統約の制限を離脱する

かその限度を決定する段取りであ

であるが、この間如何なる程度は一度表したが、三国政府の通牒要旨

『庭席、师照是音譲に参集

教育は一日年後六時ロンドン海軍 | は今後三ヶ月の協議期間に入る職 | する英米佛三國政府の通牒を正式 | ロンドン | 日同盟 | イギリス外 | 寸五條第三項により英米期國政府 | 億級エスカレーター修項援用に購

競技されたが、その内容は次の通

ー經濟使而壓はい上く、八日日

【ローマ】日阿望】助日瀬イタリ

使命を發表

學生救國會も

比べると素晴らしい躍進を示して 脚時部 一、二四〇千三二六川 教を含めば二三六一、六二七期) 達施設に関する經費

の中十四年度九十萬川十五年度和東京編織二〇二一、三〇〇四十三年度

勅選に奏請 一日入城二、三日滞在日本社(前鮮貿易協介制合

時間五分あかつきで入氏(帝庭前作五員)一 小テル

後任に瀨古、大木兩氏

◆期谷部原長 焼物のため 二日本止動 間(第底同 部原長)

地支黄

の強化は先づ特殊

今回決職を以て新聞を聞き南院が 過方法をお途中であつたが、何れ も像定の如く遊抜を見れため後に ら直接動選に推聴するととし近て 々々といふも國民大

和約の果里こそ非常時の心指へきも、その食裕料々の間に物資食裕料々の間に物資食裕料をいっぱ越めて心場 策の 心境温だ悠々 たるものあり

真族院都託官 瀬占 保文 党犯すべき議院制度改革にも備へ

砂米図が建職取事に入り込む た攻められる必要も ふところは吹むる必 殿時代再來の氣配の

か地球外の國のや5な使用屋で園野客品とあ らだ。ちと落ついて反

こそ候略主義であり帝人並に軍備に然心する

で農村を巡視 南總督日歸り

飾りで京都道内の傑行を急進するの球線も弾るため五、六の乗日日の球線も弾るため五、六の乗日日

北支を視察 穗積殖產局長

などを十二日間に戻り朝なのはす 事務打合會 長班好合道衛生課5 | 各道領土縣 ら天他、北京、張宝日 五分数飛行機で本天に 五分数飛行機で本天に 是首朝鮮月北支の經濟 、騙し現地各方面と打

湖南、打合專項、意見、希望一日 他聞醒關係指示注意及協 日 锄不、指示注意事項、打

逐信辭令 (三日附)

公島保險監督課長 (留分本島監督課長 (留分本島監督課長 (留分本島監督課長

國共兩派が對立

人

になれます。 を現にはスーク を見にいう気持 としたいう気持 としたいう気持

頭や、 歯が類が時は

川東京。大阪 田

傷地難源 がデッチンの特長です。 で無類ではむづかしい質固定 音楽類ではむづかしい質固定

デジチン

夕刊四頁

現者は戦時位制上に辿り上る窓

5980

等一行は三日飛行機で來京四、五兩日に亘、【北京一日同盟】維新政府行政院長聚鴻志氏

七王克敵行政委員長以下臨時政府首腦部

D SALOMETHY

十二國日本府第二會議

2

結果米臓より近くカーチスホーク

和らげるのが本別の特長ですを必然のようには、とかく脳をはいるのが本別の特別でするのが本別の特別では、こんな場をが痛み出します。こんな場をが痛み出します。こんな場合は、とかく脳 疑る、 痛むるとうにす

が朝まります。 ので、早く開み ので、早く開み ので、早く開み がり返れで をして強くので なして強くので なして強くので なして強くので なして強くので

邊 商

局所榮養療法をノ 店

へん早く肉芽が出來てきます。自然治癒力をつけるので、大杯劑は創面の細胞を賦活して

クソつかないでスラー~と明れます。無刺軟件でキヅを売らたてす、臨南が

軍國の小僧さん

各道一番に三日の神武天皇祭を期

昨夜初槍玉十四名

元 月 (電車太平道り下車両入ル)

H. H.

奴夫

。 時・助之惣存佐 曲・男以 頁古

美楠

ち

홿 木

門間で日より 各午前十時より 生 募 集 ----

営養菓子



(金属製看板門標 (金属製看板門標

単語での日本 になの扱わと 語が現住心庫 回さくらの様・

門 ニシヤマ・アンダーデーカー 日 家御用達

没食业金思常

京城グラウン

四月九日(一) 十四(H)

男子原 師島 П 川島彦 原越

受稽ロ利雄儀去三月三十一日夜急近致候 で就ては四月三日午後四時より自宅に対 て告別式執行可仕茲に生前の御厚誼を探 割し題程候也 之盛省侃 四 侃助貞三介蕃郎胖

大学が大阪三〇門四番 揺

で評判ノ

草得禮義 貞機錫锡

田原佐々 八時 木村村 千三重邦 一彥馨官

短额到 〇不眠症

表易

皇國臣民體操を

重 標 機 * [‡]和鹽岩佐重重

禁京城葬儀社

で航天王寺上七五八番で航天王寺上七五八番の一店に開前金笠付第マス(三期前金笠付第マス)

朝鮮王産・ツルテラ

池田の古典

受力性の配信力減退 の配信力減退 の配信力減退 の配信力減退 がある方の一度を認む がある方の一度を認む である方の一度を認む である方の一度を認む である方の一度を認む である方の一度を認む である方の一度を認む である方の一度を認む

日活の文藝作 路傍の石を配役

封切られる問題映畵

【黄金座の試寫を見ての合評】

お目見得

一日から朝日座出演

後援 • 大阪朝日新聞社

越の展覧會

ーマニズム的の解釋を以つて執証

大成功の新協劇團

堀小多葉來る



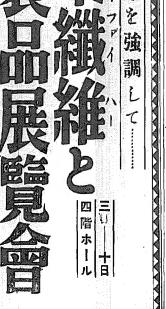
大九郎九

 対している。
 はいます。
 はいまする。
 はいまする。
 はいます。
 はいまする。
 現立事以出 女選樂 浪制開放 古町一著

四月1日の 1月1日の









WANTER TO THE PROPERTY OF THE

一の事が喧しくなつたか

大藏省が强硬態度

有元) 未溶 人的大三 化 现物 人的大三 未溶

八二仙四分ノ三八五仙四分ノ三

1 愛「宅に落なんぞがあるものか」とかを捨てお在でなすつて、敏砂を見てに落なんぞがあるものか」とかを捨てお在でなすつて、銀砂をおれたと

宮四「こんた草原え山泉では、十 人が斬込んだ、大陸動となりか」 に上つた時に大助と網五郎といふた。

荷井小 源太といふ人 徳の 戦を何 てゐるが、近々に松金山の山城後るだららが村上大助。安非朝五郎。 人も許されて、皆な有田村に闘つ YEM 「なけれやす」す行って買ったといる地です」
を取上げなさんだ。それやすさらを取上げなさんだ。それやすさらを取上げなさんだ。それやすさらを取上げなさんだ。それやすさらを取上げなさんだ。それやすさら

(大名) 天安四等 天石 (大名) 不被用命 中之 (大名) 不被用命 中之 (大名) 不被用命 中之 (大名) (大2) (大2

卸賣物價 親切ごかしに

早く良人大助の表音を知りたい、のおでなさんといふりが来ておる。 中でして来なから、どうか少しも、ので、、その付上といよりなが、かなが抱を受け、二三日は遺に切み、そんなことを尋ねるんだ」なが地を受け、こ三日は遺に切み、そんなことを尋ねるん何だってお聞いています。

のは私の件でございまして、碧四

に従いて、何故を遊び題つてゐや一が、今まで高山の神越下へ行つて |此の馬鹿野郎、老人二人を家 | 邱と いふ やくさ者で ございます いますから、お明さなさつたら宝 や何か能く知つてゐるさらでござ をりまして、お前さんの具那の事







商品市况

10.10

物(一枚) 1、三六 がるんだ、「原を打つて液を組て 「土食) 三、四〇 玄四 「フ、、、原を打つて液を 五、〇〇 建てた者がわえか知らねえが、後

野田 (1袋) 1、〇九 に位いて、何萬を達び魅ってみや(尺/) 一〇、五〇 ; 此の馬鹿野耶、老人二人を家(尺/) 一〇、五〇 ; 此の馬鹿野耶、老人二人を家 がるんだ、健楽を打つて歳を建て

大俣茂州 西木俣茂州 西

エス條項援用に關する

等内幹諸文一如の大陸改置の観に沿ひ乃至は我が朝鮮が非常時日本の撤進力となり、割期的金體運動が半島の金牌購を通じて起されんとしてある

國防に關する科學的研究の統制▲産業、

交通、金融等の組織、整理改善▲災害に對する應急準

大野政務認識の臨任をよら建して、の第一事を暗へ出すことになり、大きな期待がかけられてある(寛武大野政務機能)

英米兩國の通牒を接受

野總監の歸任をまち

間側委員を任命

13.4.6

関連計場時大祭に新に合祀される。杜かある。この六美麗は「東京電話」来る四月二十五日前。されたが、中に半島出身の同郷六、 英臺は二日陸海軍告示を以て發表一 平北道田身 陸軍備入聯八處逐

靖國神社に合祀

線の虚報

半島出身の六英靈一

から質慮された。この前大法令の施口型用の馬全を駆するために市港省は旅院近郊が食識を勤め内被部是、地方源長、即後職長、即事に一大英識である朝鮮问顧の志頼美制にな食趣されるととなり、既に続着含欲正は四月一日間を以つて施行され志頼兵制には四月三日 佐風 の 如 (全生 半島)を 風 瞬間した。この時にあたり南邊首は表揮教育を前提とする朝鮮教育令の根本的改正、まごに動卵的 民は、崇高無比なる皇道精神を根底とし渾融一體の内鮮一體を具現、熱狂的愛國運動は大でゐると共に新時代を翻した一大轉換期でゐる、今や朝鲜統治廿八年。全半島二千三百萬國

るは真に同選に述べずるは真に関連しているの名質念備はか人心自ら興起するものの分荷する志願兵制度の實現を迎へ皇國臣民たるの名質念備はか人心自ら興起するものの分荷する志願兵制度の實現を迎へ皇國臣民たるの名質念備はか人心自ら興起するもの心でなる。と、多要是を報じて終また神子をは、万久戦の高麗作品は自然の意識するためでは表現していません。

全民郷の際はるが加き財産に成るが作大きていきである 大行連を起し、時前に挙背する外各種関しが行はれるか、ロシの

ても機種的通告をしない群とない日本イオリー阿爾政府に對しならう

ランコ軍

政府はメキノコ政府が行ったイン 領カルデナス氏に宛て、アイリカ 長官は、よる廿九日メキシュ大統「ワシットノ」日前盟」ハル國務

サラゴッサ:日何瞿】サラゴフ

蘭陵鎭を占領

我軍は更に疾風の如き追蹤を扱け

照射を否定

米艦隊司令長

ラツク群島

に選走中である、食って我軍の背

北方に於て我が結攻に遭ひ極度の高東七ヶ師見そ十萬は秦見祖東

別を讃まないし

か手に歸し、日下他に襲火を撤張」楽止于九である前郷にある女郷軍「殴の帰籍を明かに」、或は尚米の襲地なる策定、楽藝相次いでわ」にあるものある極端だるも、前に「彼奥武前恩も支那軍を粉砕し」の要現たる策定、楽藝相次いでわ 2呼艦して立て今山東々部の我作「人機雄する時、一身の存亡が故に」り、又これに関する我保険表が 京三日同盟](三日平前十四義 | 敢なる反駆に遭ひ、その企関奉く軍司令部(當局)談 (北) 都を調散せんとしたが、東東の果 (漢大これを当州に賜道す) きは戦後集の如き生命すり失ふ然| そのま、解へあることだと、彼珍になる戦災がに対して、関し或はその戦を恥はれ、湖だし| に粉細を蔵す事だく事類の異年ない。 ファット・シェー 記律を如何にも真践らしく難じ点間し支が削に変が軍戦時の 敢なる反駁に遭ひ、その企園悉く

訂計解導

和大

学典

新裝贩

新

变

沈没河船百隻を

状態に陥り登場に関している 官莊を占

【北京二日同盟】我軍は合見服の

新特價六円 是國七門五十個

a co Orgi

行機で北京に向った、同地に於て **毕政府王行政委員長以下首職部**

○報局董前氏(平堪商鑑育頭)

に輪をか 況戰線浦津 柳司氣太

倉館

内容の一年間以間の表示問題

圖

山房餅書特賣

呆れた支那側の發表

郷単はわが包勝線内に集縄せられ「維持し得す、六全大体開胀下げ

殿は三月末には正大塚地方後に山「有利な販売を報告して香風を制造」である、今や欺瞞と感節に終めるとこのと兆に夏に慰敵を追いいよく。 れあるをもつて、成るべく自己に「照し合すれば自ら明かなるとこうで、 三級の国家大これを近州に帰近す 進河々畔の城市を済れ、宝巻縣一覧しありて、往々これを歴史と信 有機率を特別して感覚性団を観してある。支那の蔣介石政権作用はに那走してをり、この開催に費せんとするのが支那人の常野手段 要衝を出題、十九月には早くも し共に更に敗敵を追いいよく 泉河、蘇縣南州河、臨城たど る、一方准神観広線の作戦 揖姫言は壁下軍隊の吸戦をそのま

6. 詳解漢和大字典

特價二圓四十錢 - 被水水至分類上寸七分 一人四四頁 金月內・廿二 一定價 二回八十錢一

職は概ね所勝の目的を達成し、該に放て質値せる多部隊の包隊作 上海二日同盟』上海軍二日午後一届せしめたり、我と 三月下旬太湖西南方地一カルモ三席五千にして、その機樹 が抵抗さ死職合せて四百なり

匹に増援し来れる敵を逐次包御中 四分三を占據後更に附近一帯の地

人院市駅神程館の治療をたすこ になった、手術するか否かは更に の独定を取止め、膨脹回復す

|石家莊二日明盟||京徳港浦南京 連級におふるなく COMPREHIENSINE MOLISIA JAPANESE DICTIONARY BILLIE



醫服部宇之吉 · 醫 小柳司氣太 共著 — 新特價三円 景河 八〇 南京

教育界推薦 : 輪學校指定!!

説側の宣解が虚構捏造で針小棒

四月二日左の如く當局族の形式

にけ列國の利索觀を斡旋し、一方 べく政へて後世史家の批判をまって子鞍に人道主義的意脈により時 日報過と共に極めて明らかである

【ロンドン一日同盟】イギリス破 | 概に亘つて注目すべき諸職は次の 英米の論據不確實 技術的に再檢討

外務當局談

我海軍補充計畫

我外務省當局談を發表す

飯島・呻柳共著



镰 詳解 漢和 大字典 **尉訓詩解漢和大字**

句内容の頭腕を助けると共に単生語君は之により平君にいちだんと興味を思えます。調酔は讀。漢稱方面の學習に含する目的で編纂されたもので、其の語用は直觀的に

Щ 房

久の韶承年間。一新六八判一八六六頁一番おけば衆に嚙みこなせる英卓界推奨一水な関有名詞も細緒し醯弊な専門書もこれ一な関有名詞も細緒し醯弊な専門書もこれの問題本の單語整路はもとより清書に必要

興味を覺えながら學習できる附錄。國漢參考圖繪。」といず自由に持ち歩いて國時預習は習ができる新聞辞願週和―如生間に聞好習。

学大のスマートな新型 ― 然も國漢参考圖繪附―朝にえれてか

様おなじみの『富山房の大漢和』の姉妹書が出ました。

漢参考圖締附

東京神田 電

局委員會愈よ活動を開始

帰院浄土養に至う、正常なる城院総裁の背友能感を関りこれを隣に税締動物具計型に符合ので、直ちに見下機御中の民間側を具を決定無機が浄土養に至う、正常なる域院総裁の背友能感を関りこれを隣に税請動を開始してまっ 晩時動倒下に直面する生鳥を隠てる十日頃間任するので、直ちに見下機御中の民間側を具を決定無機に三十条中の重要案件を阻上にのせてあるが、委員是大野政務機監が来んとする場所を開

万二十五十日を成した の我がOC部隊は販走する政

〇〇の南部隆二

東京空襲など

支那のデマを集録

大本營陸軍部が發表

へてくれる単年間に定評ある「富山号の大連句」 むづかしい特度でも説明平易、同でも親切に数。 中等数料書に出てくる漢字・熟語を始め、どんな

新黨運動の主流

政友會内の親軍派

一衛公は霊育にはなるまい

政界消息通の觀測

一十十八年の統治史を回覧での由つて來るところを想び、

丁島二千萬の大衆は、佐図

本の不足と総職業に對する技術の

勞銀の貯金化に

戦争は國家總動員

本田顕彰氏(突截弾論学) この「日」の母性は、それを調入でしいまではいめ、 けたれる「といふだけではいめ」 りない。この「日」の母性は、それを調入でしいまでは「場ねこの母性の、「快るしいまでは「場ねこの母性の、「快る」といるだけ、おは一戸の紙りを繋ばれた。 ほどであつた 北 村 小 松氏 (割作小・来) ・ 下地」を値いだくしばった。 を請求すにはあられないであらう。 を請求すにはあられないであらう。

戦へる使徒 倒 悄像

最大最高の傑作はまさに「大地」だ!我は移り、舞臺は變る。現代に於ける野と平和」出でてより旣に七十年、時ユウゴオの「噫無情」、トルストイの「穀

說

朝鮮放送協會理事長 保阪久松

いる ものと を を を を を の と

こう変

ずて、教授 ある。以下三世の大を努力

だと思ひました。 全七巻内 容では、あまりにも共感點のさいらば 全七巻内 容では、あまりにも共感點のさいらば 全七巻内 容

==

AM 분위폭명

資分冊各

錢十三圓

東の風西の風で、東の風西の間の別では

職へる使徒 『、職へる使徒為別語

大地 " 大地體 影話 大地

大地。第二大地區

母の肖像 の 母の肖像 あいま

に於ては支那事実の解決が時間的に引延ばされる場合に於ては、今歳會を通過した國建 ある▲一方右翼方面に於ても醤柳武 曾糸の如く純真な革勃的氣持から勃黨を要望するも と、政権に接近するために新黨を利用せん・Uする二つの傾向がある▲更に軍部内一

應召者遺家族

拂下げ米期間を

九月末日まで延長

尚此 の異面と同時に強備判

術製者に對しては内地に同様朝鮮 るのを明報ご過機既施するこ 安那事製により應行者の遺家族中。間は本事に月末日までしなって

今後は指導方針變更

入繪師信画一勝島雄 本英四〇〇三月六四 銭十三圓一價定 | 東京市郷町周三番町|| 東京市郷町周三番町

第一書房 接替口述 東京大四二二

投手だ、特異のモーショッに、今、油の乗切ってゐるのは石田

した名職費金時代の投手で、 四月九日(土)午後四時 豆 沅 人軍二品 合

· 海阪急 佐田

等三段區小作人 一周补仁报外等三段區小作人 一周补仁报外 總計 十二萬二千 累計七萬八千一百八十 日計九十圓十錢也

二田川(环) 佐田(恒)島場(県) 巨人軍(1)憂)

六百三十一圓七

四月十日(日)年後一時

阪急の陣容 じて東海野界一方の雄として鳴 出面玄鵬、仁川春點立: 至朝蘇陸上龍樓協會主佛第六回是 京仁驛傳競走

献

帝國主義論の

經濟地理概論 新

關(注析) 桑八中

五**圓五十九錢也** 累計四萬四千四百四十 正六Ⅲ五十錢

金六圓五十四 ◇國防献金

· 近小學校兒撒一周百六十四五十一個 戏歌里山區

金

に旅戦の発展の後に第三条した。日、丁田の二日朋度戦ダルを中の球獣にトライが切る本針昭称の日人對阪会集西職

ノを沸かし早り

お開戦日を持ちかねて興奮と興味

療得せんと職業國中のメ

のスタルセン、青紫創川、成田の優秀技手 の揺さも見せず、また阪急軍も新人を加へ今年度は根持

フアンの話題を獨占

かねるその日

四月九(土)十(日)兩日京城運動場三試合

ンを封切る大野球戦

行知金利子に對する課税につ **刊金利子課稅 甲五毛の増織**

國富論(中•下魯)

社會主義の發展

と國家が

ル(上下巻)八山

5 修禪寺物語與本母等: 佐瀬夜雨詩集團 愛書: 成時集里東京醫書: 成時集聚生東京醫書:

少年の悲哀或木田馬少男:

有品武郎戲曲集 舊 武區 有島武郎書簡集 有品 武器

星座・生れ出る悩み有品 記書

る女(上) 育島 武郎署 14

命 論 者 國本國軍其 :

为角兵衛物語及前 was a 女性激化 國語 片頭 磨鞋瓦

大桑風雨時代前田間 1878 日本 高 1巻 1

井泉水旬集新井景書

笑云男。笑云女十二谷香丽香瞎声 人 与 吉十二谷香丽香

古十一谷斑三阳著。

語及所會著

愛すればこそ谷町の一番:

世事見明錄篇

主

金融資本論以

何をなすべきか

作者別萬葉以後主要養婦者, 作者別萬葉全泉主要養婦者, 飲武五小路皆以其,

行うしゅうラの出家行馬 成語舞のから きき番 不知 東京著 自局武郎日配集 五馬 北京

橋 泉 籍在書 傳片田 舊

エの元・5んかん職 行局 武川著

路有局或影響

ప

北京

情みなく要は存ち日間、明書り

に開家理論(上籍)石川、別府のクスの歴史。 武曹 子とこ

変長び 1年の出版 五

变

家

部史論(上版学共

罗 章本主题:

ワッキー夫妻、手紙

ニンの唯物辯護法

定はて人間

の妻 特紙 競貨 **東京市芝區新橋七丁目十二** 改

現代哲學思溯景、殿著

ントの平和論

朝永三十郎書

2

主義經濟學河上 團者 3

つの魂・餘計者

水艇乘組員

本 社 會 史 本正常記書 4

チェルカッシ

海に生くる人を思った。 神経・十年泉・ 神に生くる人を思った。 神に生くる人を思った。

脚海や*のあらだ春 超交換川のほとり 古典 丁島 東山 年島末 赤洋東川のほとり 古典 丁島 東北 赤洋東山 の 独 変数 著

兆民集出書

整済學の政院知識自権の古書の

本工業 史 優井 熒 著 4

本開化小史

本經濟論門

ホムブルクの公子

公

2 には、民籍集出の経生日生産の

集北原白秋著

大經師 昔 曆 随口屋手代神

非

折たく柴の記伊豆公夫役員の

の半生涯翻げる

ん間

勞働者の居ない船 専口

かれト論文集 リッケルト者の

德秋水集章 张水著。

きてある!那木

要悪敗サ

自選短篇集林 夢舞者 7 妖 (株)下) 佐藤 野共著 4

ウクライナ物語 平井 ニーチエ傳(中)野上の ルテッイア ニーチェ製術論抄 ①井田 朝天 閉鎖商業國大泉八郎の あ だ花(他敷留) 秋田 法解 代

法律哲學網要(下)田村が開始6 スピノザゲーブへルト語と 大和物語小學與此名 新華摘•蕪村翁與 禁鼠共星水段 簡類日度子代記

近刊豫告

植口一葉遊集(第二種)随口 湖口入道部標等 幽郡 科 药四海城集一五 高

1 共 角 七 部 集 宇田 久代主4 ・ 供 部 紙 七 部 集 宇田 久代主4 ・ 大 郎 徳 二 福 風 橋 上 岩 五 ・ 大 郎 伊 二 福 風 橋 上 岩 五 ・ 大 郎 伊 二 福 風 橋 上 岩 五 蟹工船・工場細胞小林多里 著 牧水混行文集 若山 校告 牧水歌集(1717)5百 投票 4 不在地主・オルグ小林多門等 郎笠子等質素

金九十圓十錢也 ◇慰問金

經濟科學 概論林門 國勞働運動史 等の對立 理學概論

感術とは何ぞや **墨書物語**

学働組合論

倫理と唯物史限

北村透谷選集局 8

規歌論歌話系 人生雜成(原功與武者小路買馬幣

年(上下)林 吳道

原務

(田)

の包みを獲功に渡っく見えるさらです

人間はどの位

と形だくにな







特に前替値段を以って謝

前替(課税前値段)率仕デーを催う回化粧品課税による値段改正

り(値上實施の當日より)四十三 御愛顧に酬ゆるため全國各代理

茲にクラフ化粧品本舗は感謝記躍進的賣行を示しつ、あるは本

三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち 三日間即ち

フラフ美身クリームを始め各種

四月三日より四

クラブヴァニシング クリーム

ソラフコールドクリー

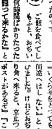
ソラブマッセー

クリー

ゑが

新チョーク

重厚な三三五銀



關係者六十名評定を開き

慶南の具體案成る

蠶景氣を謳歌 |原道を潤した百七十萬世

開城府會開く

华田設置

不府へ斡旋を依頼

更生共勵部

落の指導

長湖院原州を結ぶ

體の具現

から 松堂

しくその一部を旗間に充て残る大

小毒躯黴新

P

平南平原 永 椰

後援命平原委員部 平 原郡教育 會

のな特別記念現地開催 座談會 祝朝鮮教育令改正

陸軍特別志願兵制

職津監小學校

職 員 一 同 坡州警察署

臨津而事務所

経濟にどう備含か

十 武田県一 - その手殿・加雲・日程……水料畅派日か | の北支にどうして渡るか

力武

可部與三個

・と投資家の對策・中外商素前田 梅松代」 來 る……・音質党市長勝田 貞次代」 來 る……・音質党市長勝田 貞次のは何か……・紹斉単は:高木 友三郎ものは何か……・紹斉単は:高木 友三郎

韓山醫院 Ĥ

の電力國營の次に

門が國營の問題ごなるか小島精一

小服院服

殷

汶山司法書士會 李蓝

重 Ġ.

松宮紫三型

風棲酒造繪配 郞

場の奇蹟と珍談座談會

金克

鎭

漢

一年も増産に大童

全鮮の山村を綠一色にご

緑化軍釜山に上陸

() 西 () 成熟 () 次就 (

に覇を稱へるまで(貨家主・カフェーエ・

安州清南公立

葬常小學校

変日本刀座談會

職坡

員 州

同廳

郡

出來る人。出來的人……王塚締伍はどんな時に出たか……栗林正修

はじこから出るから85円を買る4年、場所するから見た。 「年期の性慾統制法……関係2年式場際三郎 「年期の性慾統制法……関係2年式場際三郎 式オール法律相談の新数所の最も簡単な 新安州清江公立

尋常小學校

1十錢(應料)東京京橋線座西 實業之日本 封 安州

安州色

西鮮米油紫白山 支店

H 會

	・ A September 1998 (A September 1998) A September 1998 (A Septem		and a state of the		(A)			日 すべ 別
д ЛЦ	息屋 海 海 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	塚 崎 兼 作	田川常治郞	白石嚴	關東組	德永勳	伊森明治	SR 七千百九
/ FI	高居商店	二笔耕	鈴木文次郎	福治省之即	豆本等管地成在	山本黨	古 田 明神禮信所發信局及	賞
上	京 城 支 店	なべる社体がる社	小 林 源 六	30 B/2	有葉製作所	黑木吉郞	矢鍋永三耶	
//LL	日滿上木紫會社	及不有~~	小倉武之助	奏保真敏	小战文八	人見次耶	石 川 登 盛	演志
Nr. Jari	株式 本 券 番	御和信	佐方文次郎	格口京九	楠見組	加藤五十造	矢 島 杉 造	別特
	朝日タクシー	中的小童老	見目徳太	吉川守造	京城管業所	莉 池 一 徳	林 茂 樹	軍
+	東 券 番	金沙 中村纪	武者鍊二	会社横山南店	會進力大商曾	山口重政	賀田道治	-MX 572
13	東新地料理屋	并上京計	本田建*義	阿多方一	小鸡起传养	富永文一	佐伯顯	改行
	新町貸座敷業無	應接組合	寶 諸 彌 七	北陸组	金貨今社山本组	野田新吾	甘 蔗 義 邦	育
	滿室町巡郡組合	米田勇	加納一**	松本之定	教」の名は	渡邊彌幸	鈴 川 壽 男	
	大一条店	佐野彦藏	柳樂達見	渡邊龍	加速起版	林繁藏	山田忠次	期 前
	曲礼能市	平賀二男	三輪邦太郎	大塚俊雄	稿本施工	上 師 盛 貞	三橋孝一郎	

場を新築

富局 では嚴重取

『節の實力が得られ本のませう。この游霧をきてお申込みなさい』

配本(2)五八三一間後八トリスタデオ

- 見本と

人氣のハトリへ御館が写真は

案內哲學案內容量不同等技藝商学校

金田子銭東京中央水ブル・東京神田錦町三丁目

高國市事院 日

豫備校

ら梨花女專

州の海上で構築中の汽船底曳網旗 A成南水興W脱島面の東北丁

遭難酒井機 の部分品か

春を封切る花

りさんに

警察官の親切なけ

城府黃金町二十

◇證券 ◆临本有價

百 萬 加 一 年 年 年 年 年 年 日 加 よち

か一台を! のお祝に

新 夏 曺 山窯ピアノ 午登30 號

告に限り特に一個にて掲載すりが、対象が料金は前約の単位就職と同題に五十四五十二段配名は一回毎に五十五段語で十九字語一回五行一

※ 記 条 内

質此人事保短照督ア記様工業率程度ノ待遇定権業者へ會性從業

澄成

所

學力ラ有スル選択満高小卒(八件六

社會式株券證業
動本日 上支城京 目丁-通門大南府城京 番七九二城京替振・番四五〇四局本話面

資料にも好選場所来子可证正通 の発音を発音を表する。 の表子可证正通

九時半までに社稷壇へ(頭話学会)

中等選拔野球

京城支

「お前に隠れて金をやつたりする」

「生活費を送るのは箱棚ですけれ

作『海の組曲』の第三樂章である

【五】シレーナの頃『痴の紅曲】

ソに一等皆迷し、 皇太后マルゲ

部高段八

く、後に不快な思ひをさせるより一くのだ、不愉快な概を見るくらる すざて妻を職務し続せる自信がな のがいやだから、正直に話して置 いやと云ふよりは、身邊多代に 『前以つてお話が順ひたかつたの

似をしやうと思ふ客へは少しもな を心配するだけで、昔のやうな異 かと云ふ気がして來るんです。 迷が再燃するやうになりはしない とも、それが縁になって、昔の交

りをむさばつてるる

ふさら聞えず、彼等は安らかた眠 々を送はせる。身にふりかいる命

シレーナはシチリー

マンドリン合奏

東京マンドール 水木一郎

部施さんは私より以前の相手

美難を以て船人を送はせた半人争

【六】アルベムの一薬魚の女神

新星座發見?

白一以下十五迄

裏は反對の事

「五の属下金属への、調心」。 斯

ふ既である。然るに黒穴で以

劉族の令職で、世間の苦勞を知し、不安はあります』

らない英子は、良人の過ちを「玉」 |理||だと思つてゐる。 精脈後十 年間、造党は一度も妻を鑑しま 銀がない、既に女性には、鉄

ルかったであらう。 青年時代はあ 立入つた事は、おそらく一度も

田(田)

神武天皇祭 朝の部 第一放送

中植物等野球大会質院(雨天原近)等多校野球大会質院(雨天原近)中間・個帯野球大会場合は左記△中植

□ • 1 ○ (東) 発起を機符を
□ • 1 ○ (東) 発起を機符を
□ • 1 ○ (東) 発起を機符を

大阪ラデオ・オ 大阪ラデオ・オ

日本別生 宮城道端作曲(新日

野内士行作 (ラデオドラ

IIIO(大)海外市況(休止)

畫の部

□・□○(東)講談を選出外停泊

阿行池曲 內間信報的規定

古詩期空 李 新吳越

李王職職樂隊

る作曲(合唱)

輝荷作 (歌誦物語)

中のすることもの

日(月)

屋東山公園内動物園より中橋 大・三〇(名) 春の小島──名 年前六・二五 ニュース 七•00(東) 族養羅話

「何度でお達ひになりました」

殿が歌い類してくれるた。歌風

遊散さんにお塗ひになりました

火へ入れない。長くあんな稼業を らせて趾いては、子供の臍來も祭 られるから、藤者を止めるやう

復活の項『毎の観曲』より だ、ア ベニスの器内祭 五、シレー製曲 三、ナポリの想ひ出一、愛國行池曲 二、珍様的

1●00 流洲上り (新京) 講演

天上自ら祖女よ 後天 大・〇〇(東)産話期を金類の

田和李宗三吉作(如實)

より日本の少年少女へ。

夜の部

近いになったので何だか、いや 一活牧を仕送るのも結構でござい てりや剣つて居ります。月々の

持だつた。原子も大體の事情は知 一要ったく液態が軽者をやめるに 前以つて打あけて置きたい心 だとでも思つてゐるのかい」 「同じ事ではないか」

[二] 法语的即與曲 [一] 愛國行進曲

水木 一郎編曲 イル・マンドリア誌の作品コンコ内開信報部機定 行プボミ 第5の117114

ルソに於て金牌を得てみる。

活力震遠、迫力の節つた此の曲は

非と約束された本角は、氏として、高部氏は砂に寄へ込んで、する。 に六国行はれて打分。織つて新聞、黎・女川氏は唐墨武者よるひの種に六国行はれて打分。織つて新聞、黎・女川氏は唐墨武者よるひの種

は初登場だが、買い決職ではある「と云ふのが今日の打ちかけ風蛩。」つた反對の作戦。これが本日の觀

『裏』裏だから黒の注文を日が断 るが、先づ黒二に違い変をさせた自立の手には燃気が無いかに見え 中央市場設立』で、自三以下五と

【七】伊太利の復活 アネルリ作曲な間寒的小品

明朗必勝の進軍

で先づ白一に黒二と『虎の卷の必

ラチオ風景【午後八時二五分】

らなかった。からる場合に立到っ

殿桁に進設しようとしたが、いか一かば一の歌を残して去つて行かれ

語にうつる、これは伊隣松雄氏作

機略をお話申上げてみたいと思ひ

政権一塁に挫かんものと士祭昭一によつて太宰府に配され「こち吹」えて新日本の強展を象徴し軍政物

て身軍が途方にくれた刹那、金の一公の生涯を歌画により詩吟によっ一水兵』の軍歌を配し、日雲勝環の にせん、肥隆の強むべき方向が分。配所にあつては去年今夜の詩によして、八さん御陰唇をして目前加州

つて型の以出出の賦を披露された

の便能を語らしめつゝ「勇敢なる

記念講演

て姿現する、終つて大は「七度生」疎崩より語って日本陸軍の歌、天

宇のタ」の一つの番組としたもの 祭の今日の番組は「八仏一字のター」動に移る 愛属行連職』をその主題として |現下國民物神諸朝日の精神を | け十七年、愈上目指す大和が近づ て福朝したものである。そ 日本雄國の遠言者をしのぶと「干穂を出立したまふてより、足掛 め込むに際し急軍は宇都彦といふ きであつた、土地不案内の所へ攻 き特に御成就遊ばされんとしたと に手限く、泉軍村あらず脚を奏す 者が水先案内に立ち何乃へつくこ とが出來た、然のに敵及饋は仲々

一の原子も、少しは取職してゐると一の曲が莊重な評代の昔を象徴して れた事がないだけに、「気を深い答」ると宮城道雄作曲に仍る日本創生

愛國行進雄の第一節が唱けれ、

今まで一度もある云ふ問題に帰

全軍の士泉大いにあがり、勇氣首「武心と公の立身をわたむ人々の譲しん。

八・〇〇(東)等曲・國の基・総督府勘務局長 鞭原時三郎

ましたことは空に河麓に掛へませ

今般朝鮮教育会を改正せられ能上 | 本教育令の改正は妻に南語音間下

大・〇〇 小サナ音樂會 観●地方へのニュース無無のである。 李 愚 即ち配代質局苦心有本け、一部同 微せしめ、内師一盤仏に治平の慶 をして真 島園臣民たるの本質に

(の対・15.7) (のが・15.7) (のが・ 興 | 半島の教育側度に一新紀元を明 民稲の特迪を踊り、特に教育に於 の概要に努めて以て今日の庇臓を たものと云よべく本日は二千三百

茂同胞の数害を共に張つの心を以

て本教育令の實施受利につきその一様と共に開くスポーツ、スポーツ 紘一字の御精神

即位賞時神下しになつた大部中に 在る字句で文字の上から無します この八岐一字の騎は神武天皇の御 と大型六ケ敷い家に思ばれまする 朝鮮神宮より中羅 (弊針) せられる朝鮮に於ける志順兵制度 下に天下の者生を愛撫し粉はむと て本白の神武天皇祭日を排し賃施

八・三〇(東)漫談 「大・三〇(東)漫談 「大・三〇(東)一〇東)一〇東 「大・三〇〇) 「「大・三〇〇) 「大・三〇) 「大・三〇〇) 「「大・三〇〇) 「大・三〇) 「

ものといふところ

を受視するの時間に関えてある。

【三】ナポリの想ひ出

家たる作家の佳作、風光明媚た

ーの厳寒家であり、且つ作

ガルガノ作曲

五で、疑いて以下集十八までと製 でする。 これも 無四の 特望で 果が と、其白が下に示す梁孝闓の白

的性格の缺い、若くは短所とい に表慮せればなられ。それに載い め、それを改め、それを傾はわば べきところを自張して、それを増 質調すべきかに就いて、概句 既要なることは、我が國

無六を二の属下に、自が十一の所 ら、次に黒(い)となる、黒二 以上で黒十四までだが、それは の電子とあつては自が組営に採 たければならない一部である その第一は国民が小我に捉けれ 度、大國民の浙丘、大國民の雄志 ゐることである。第二は峻好心が は先づ此等の缺點、短所を自催し 小成に安んずることである。我協 多った過ぐることである。第三は

配合築を明示した

施行に際して 志願兵制度の 大竹 十郎

体帯を偲び奉る祭日でありますが 度が施行せらることしなり朝鮮 本日は我國御一代の神武天皇の御

あります。就きましては私は影響

も続が期え始めた消滅天私祭の今」で備される今日のラグビー駅 ――【フアンを存在せよりらいから初瀬子一十月私の野山下 ――乳 フォーリシーフノッチ もし 一 ガル野田 アナの名詞子でスポーツ と全点規証との段頭取の質児が老来顕した振界の維立教大場チーム

商船出帆

內科醫院

八歳頃までに決まる!

ご大人と同じ(約九割)になります腦の發育は七、八歳頃までに殆ん

成績は得難く將來を不幸にします。 実のひと學校へ行つても、よい。 実ののと學校、行つても、よい。 というない というない はいばれて はの頃までにレシチン、燐化つて其の頃までにレシチン、燐化 働きをよくする事が大切です消耗しますから、常に之を補つて消耗しますから、常に之を補つて離れる頭腦を使ふと、際の成分が離ても頭腦を使ふと、際の成分が離

■ 社で式はカリグ(阮火・台湾) ■

9リコはレンチン、発酵カルシウムを適量に含んであます



Qミツワ石筒本館 東京・南国 大見藤南店・町田間

ミック制酸錠

偏なくて

RETUEO

思幹 宿醉

甘い物の喰べ過に 本葉のな供も歩さ 花の寄ともなれば うと云ふものです

三百锭入 二十 鐵

N. 1.51

朝鮮汽船出帆廣告

プーリストピューロー 設度所 - 市域三越支店 恒運負取扱仕候貨物取扱

馬山行(京行)作日午後七時十 魔水行(急行)採日

曜回·1-111111日南台

大果丸 八日十七日廿二日 月分 八日廿二日 (福日) 午前九時 (福日) 午前九時

阿波共同汽船业出机 盤山行(急行)月廿回夜半十

四月六日七日

島が飛び來つて、御弓の上にとよ

=つどいて『山はさけ』がうたは「く昭和』で、日本力級鍼、オリ

を配して、科學にスポーツに、政

- Po-かな初春----- | 中島の野山に | -- 其スポーツシーズンの序幕とし

今日の實況放送了〇二氏(三田)

-マイクも冬眠から覺めて起

ピック放送、肺風羽田窟等の鍼音

今日に於ては方に大雄一字の理想

自ら顧みよ

日本國民よ

静武天皇御泉祇の大衆は目向の高 ・うに飛んだ。これこそ会職であ あつた、塩軍の行く手は脳然と開 つた、道しるべ率らう使けしめで

かれたのである

かつた、建国の日は地にきた、ゆ るさなごわが息國の基は永久に築 ――ついいて 一種行かば」の曲が 職兵は旭の前の環に異ならな

要國行准部第三前移ると「宮さん」は安那非難に戦とつて進む日本の 言さん』の維済マーチはるかに関一大行道の蓋く非闘を送つて移る 第三部

織半島教育の黎明 【後七・三〇】 懐智府愚慕局長 鹽原時三郎 「抑々朝鮮統治の目論は胡城町にに於て職皆を襲ぜられました中に なつた今日の質児放送は-----

中島二十三百五河脈の成成し 朝鮮神宮大東より中橋

| 日 替く解へる。 倒この奉告祭に ◆立教大事對全京娘ラグビー 引度いて十一時二〇分からは此時 前より内鮮開鉛のアナウンスで全 告祭の實況を午前十時から神殿大

揮し天涯と共に無利に一君英民の 阿知和安彦

子菓養榮

受罪人物を含む